教科名	数学	科目名	数学 I	履修学年	中学・高校	3年	A~E	組	
単位数	3単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT数学 I						
担当者	中田/白岳(ABCD) 白岳(E)		数研出版 CONNECT数学 I +A						
学習目標	新しい単元だけでなく、既習事項も含めて概念を正しく理解し、それらに関連付けることで数学的な思考を養う。 自分の考えを道筋を立てて、数式だけでなく言語を交えながら正しく表現できるようになる。 小テストや間違えた問題の解き直しを行うことで自分の思考や学習方法を適宜矯正しながら学習者としての自律を目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題を解けるか。 ・複雑な計算でも正しい結果を導き出す計算力が身についているか。		・基本的な知識を組み合わせることによって解ける問題にも向き合っているか。 ・途中経過なども含めて、数学の答案を記述できているか。			・授業外においても学習を進め、学習内容の定着を図れているか。 ・自らの学習を調整しようとしているか。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査の得点(知識・技能の観点)		定期考査の得点(思考・判断・表現の観点)			小テストや再試の合格状況 解き直しノートの取り組み 授業内活動			
学期末の 各観点比率(%)	40%		30%			30%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式 中間考査					約16	中間考査	到達度確認テスト①
	5								
	6	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 期末考査					約19	期末考査	
	7								
8	【夏期講習会】 【夏休みの課題】								
2	9	第3章 2次関数 第3節 2次方程式と2次不等式 第4章 図形と計量 第1節 三角比 中間考査					約18	中間考査	到達度確認テスト②
	10								
	11	第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用 期末考査					約22	期末考査	
	12								
		第2節 三角形への応用 【冬休みの課題】					約3		
3	1	第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用 第5章 データの分析 学年末考査					約18	学年末考査	
	2								
	3	【春期講習会】 【春休みの課題】							

教科名	数学	科目名	数学A	履修学年	○ <u>中学</u> ・高校	3年	全	組	
単位数	3単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT 数学A 数学I						
担当者	草島(A・D) 寺町(B・C) 中田(E)		数研出版 CONNECT 数学I+A						
学習目標	暗記型の学習から脱却し、意味理解を重視した学習観の獲得を目指す。 数学的思考を経験する中で概念の構造化を目指す。 自学自習・解き直しを通して自身の学習課題を見出し、望ましい学習観に基づいた学習サイクルを身につけることを目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢		
評価規準	教科書に記載されている数学的な事実、解法の意味を理解して習得する。また、習得した解法等を用いることで、基礎的な数学の問題解決を図ることができる。			獲得した知識・技能の組み合わせることで、より高度な数学の問題解決をすることができる。また、他者に誤解なく伝わる表現(口頭または記述での説明や論証)で数学的な思考を伝えることができる			学びの質を高めるために振り返りにより教訓を抽出し、それを次の学びに活かし学び方を改善しようとする努力することができる。また、学びそのものを粘り強く継続して取り組むことができる。		
各観点の授業内 評価方法等	定期考査, 到達度確認テスト 小テスト, Reviewテストなど			定期考査, 到達度確認テストなど			授業で出される宿題□ 毎日プリント 冊子(問題集の問題1周目)□ 問題集ノート(問題集の解き直し・2周目) など		
学期末の 各観点比率(%)	約40%			約30%			約30%		
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	数学I 第2章 集合と命題 1. 集合 2. 命題と条件 3. 命題と証明					16	1	1 学期 中間 考査
	5	数学A 第1章 場合の数と確率 1. 集合の要素の個数 2. 場合の数							
	6	数学A 第1章 場合の数と確率 3. 順列 4. 組み合わせ 5. 事象と確率 6. 確率の基本性質					17	1	1 学期 期末 考査
	7								
	8								
2	9	数学A 第1章 第1章 場合の数と確率 7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率 9. 期待値					14	2	2 学期 中間 考査
	10	数学A 第2章 図形の性質 1. 三角形の角と二等分線の辺の比 2. 三角形の外心・内心・重心							
	11	数学A 第2章 図形の性質 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 2つの円 7. 作図 8. 直線と平面					18	2	2 学期 期末 考査
	12	数学A 第2章 図形の性質 9. 多面体							
3	1	数学A 第3章 数学と人間の活動 1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解 3. 最大公約数・最小公倍数 4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式 7. 記数法 8. 座標の考え方					19		学 年 末 考 査
	2	数学I A総合演習							
	3								